

循環・デマンドバスの充実に向け一歩前進へ！

今後、さらなるデマンドバスの充実・循環バスの充実に向けて、市民の皆さんと組んでいきます。



日本共産党の市民アンケートでも多くの要望が寄せられていた「デマンドバスの充実」が動き始めました。
市民の要望が市を動かす
1月30日開催の第8回地域公共交通会議で「菖蒲地区の運行対象エリアを一部拡大する」ことが決定しました。具体的には菖蒲地区の運行に限り「新久喜総合病院」を乗降ポイントに加えるというもので、今後は乗り換えなしで新久喜総合病院まで行くことができます。しかし、利用対象者を限定する、運賃が片道600円になるなど改善すべき点もあります。
委員から「事業者と市の話し合いが中心でなく、利用者（市民）も中心になるべきである」との発言もありました。市の担当者から「バス路線だけでなく、バス待合所など環境整備も必要」との発言もありました。

介護保険料、基準額で年1600円の値上げ

介護保険制度は3年に一度の改正があり、平成30年度は第7期の計画見直しの年となります。市は基準額で年間1600円の値上げを示しました。

介護保険制度で、財源は第1号被保険者（65歳以上）と第2号被保険者で全体の2分の1を、残りを公費（税金）でまかなうことになっています。しかし、公費の内5%は「調整交付金」と位置づけられ、久喜市にはわずか0.13%しか交付されません。不足分は第1号被保険者が負担することになります。

不足分は「公費」でまかなうべき

日本共産党はこれまで調整交付金の不足分は市が公費として負担すべきとして予算修正案を提出してきました。高齢者の方は年金の削減が続く中での税の引き上げです。これでは益々生活が苦しまれてしまいます。暮らし優先の政治を目指し頑張ります。



大雪凍結による水道管破裂相次ぐ 漏水が激しかった場合救済措置も

久喜市は1月23日未明、4年ぶりの大雪となり気温も下-9.2度を記録。凍結による水道管の破裂が相次ぎました。

「漏水」も発生しています。日本共産党久喜市議団では、自然災害によるもので水道料金など救済措置はないのか水道部に問いました。水道業務課では、救済できる場合もあるので「是非相談してほしい」とコメントしています。

雪に埋まってしまった車



漏水の確認は

家の水道蛇口を全部止めてから元栓のメーターを見て、動いていれば「漏水」の可能性もあります。ぜひ確認をして見てください。

破裂し、水道事業部への問い合わせ件数（久喜市の気温）

日時	23日	24日	25日	26日	27日	28日	合計
件数			177	261	84	50	572
最低気温	-6.3	-8.2	-9.2	-8.7	-4.6	-5.1	
平均気温	-0.4	-2	-2.7	-2.3	0.5	-0.5	

積雪は、熊谷で19cmを記録しています。

2月議会
はじまる

市民の暮らし優先の予算に全力！

議会の日程

3/5 (月)	2/27 (火)	2/26 (月)	2/23 (金)	2/22 (木)	2/21 (水)	2/19 (月)	2/16 (金)	2/15 (木)	2/13 (火)	2/12 (月) 祭日	1/31 (水)	日付
本会議 討論・採決	教育環境 常任委員会	建設上下水道 常任委員会	福祉健康 常任委員会	総務財政市民 常任委員会	本会議 議案質疑	一般質問	④番・杉野 一般質問	一般質問	⑤番・渡辺 ③番・石田 ①番・平間 一般質問	代表質問	開会日、議案提案	内容



平間ますみ

本町 8-4-1

1. 公共交通の充実について伺う

これまでも循環バス・デマンド交通のさらなる充実を要望してきました。今回行われているデマンドタクシーの実証実験は、今後の久喜市の公共交通を見直し検討するための実験であるということが言われています。更なる公共交通の充実を求めています。

2. 小中学校給食費に補助を行うべき

久喜市でも少子化・人口減少は深刻な問題であり早急な人口減対策が求められています。給食費の無料化を推し進め、子育て世代の経済的負担を軽減し、少子化対策・人口減少対策に取り組むべきです。第2子を半額に、第3子は無料の施策を求めます。

3. 交通安全対策について

久喜市は毎年のように特別対策地域に指定され、交通事故対策に取り組んでいるが、交通事故による死亡事故は減っていません。交通事故は加害者、被害者だけでなく家族も不幸にするもので対策を急がなければなりません。

4. 就学援助金について伺う

5年に1度の生活保護基準の見直しで、生活費にあたる「生活扶助」が新年度から3年間で平均1.8%引き下げられることになりました。私たちは引き下げそのものが、福祉の切り捨て、貧困対策の放棄であり、認めることはできません。見直しで就学援助や保育料の免除などの対象から外れる世帯が出るのではないかと懸念があります。



杉野おさむ

桜田 3丁目 7番 1-504

1. 性的多様性を尊重、保障する施策の具体化を！

昨年6月議会での質問で、性的多様性が保障されるべき市民は、約9000人という大きな数が示された。行政文書、人権相談、学校や企業と市が連携するなど、まずはやれることから始める。これが大切ではないか。

2. 東鷲宮駅の周辺整備の促進を求める。

- (1) 地下道バリアフリー化、西側の早期着手を
- (2) 東西の駅ロータリー周辺に公衆トイレ設置を

3. 市民合意のない給食センターは建設の凍結を

誰もが認める自校調理方式を検討もせず、巨大給食センターありきで進めている。(毎年3〜4校を自校調理化とした場合の財源内訳の試算を通告しました)子どもたちに一番良い給食とは何かを優先させるべき。

4. 生活保護見直しによる暮らし破壊から市民を守れ

国がすすめる生活保護費見直し・削減は、多くの市民に深刻な影響が出る。市は「生活防衛のための支援策」を立てて、市民生活を守る必要があるのではないか。

「児童養育加算の大幅引き下げ」「母子加算の減額」の該当世帯数、影響額を問う。

(非課税限度額の変更は47事業にも影響が及ぶ)

市民の願いをこめて一般質問を通告！



石田としはる

栗橋東 5-7-2

1. 液状化で被災を受けた方によりそい支援を

市は地下水位低下工事の「パイプの埋め込み」を区切りとし、被災者に対し支援してきた事業、被災者住宅再建支援事業や固定資産税軽減措置を終了とする。支援は継続すべきと問う。

2. 済生会栗橋病院加須市へ一部機能移転、急性期部門の継続を

加須市へ一部機能移転で、緊急時の対応が心配との声が聞かれている。緊急時の医療継続を求め市の取り組みを問う。

3. 水道料金の引き下げを検討すべき

市民の暮らしを支援する水道料金の引き下げを求める。

4. 栗橋関所を復元させ、八坂神社移転と一体的にとらえ地域活性化を

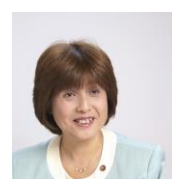
利根川の堤防強化事業に伴い防災公園の設置を含めた区画整理事業が進められている。商店街の活性化を求め問う。

5. 栗橋公民館の「空き教室活用」と「トイレの整備」を求める

教室の活用内容とともにトイレの改修を求め問う。

6. 排水路に蓋掛けすることを求める

栗橋東4丁目、水路に蓋掛けをすることで、道路が拡幅され交通安全対策となる。悪臭の防止にもつながることから整備促進を求める。



渡辺まさよ

所久喜 705-3

1. 東京理科大跡地利用の図書館・児童館は多くの子ども達が利用しやすくなるように最大の努力をすべき

巨大物流センター建設に伴う周辺道路の安全対策の進捗状況は。子ども図書館の整備構想、児童館の整備計画について伺う。また、子ども達には公共交通を無料にして各地域から来館できるようにすべきではないか。

2. 国保税の引き下げは市民の願いである実施すべきではないか

国からの保険者努力支援の配分と特別調整交付金(子ども)の説明をもとめる。また、11月仮算定では、標準保険額は2.69%下がる算定結果であった。1月の本算定がもっと下がる結果であれば保険税の引き下げをすべきではないか。

3. 定住促進政策を具体的に掲げ、若者もお年寄りも元気で活気ある久喜市をめざすべきではないか

縁結び課を設置し婚活事業、子ども医療費の更なる拡大、住宅リフォーム助成、学校給食の2子目半額・3子目無料化、農業大学研修生への補助、久喜市で働く労働者の久喜市在住時に家賃補助などあらゆる手段で定住促進・少子化対策をすべきではないか。